

神栖済生会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい

| | |
|--------------------|--|
| 研究課題名 (研究番号) | 進行性腎障害を発見・予防するための腎機能スクリーニング（選別）法の樹立 |
| 当院の研究責任者 (所属) | 永井 恵（内科/腎臓内科） |
| 本研究の目的 | 慢性腎臓病はわが国の成人人口の約13%を占め、末期腎不全・心血管病の発症進展や死亡の危険病態となる国民健康上の重大な脅威であり、その予防や進展阻止のために腎障害の早期発見が必要です。本研究は当院を受診された皆様における腎障害の発見法確立を目的とします。 |
| 研究期間 | 2020年1月1日から5月1日 |
| 調査データ 該当期間 | 2019年1月から2019年12月 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | <p>腎機能検査結果およびその関連項目 (血清クレアチニン値、尿蛋白)、 腎障害に関わる因子（年齢、性別、処方内容） を以下の相補的（補い合う）な2つの方法により調査し、腎障害 進行のハイリスク（危険度の高い）集団の数を同定します。</p> <p>1) 研究者のハンドサーチ（手作業）による個別的な検索： 臨床現場において担当スタッフ（医師・看護師など）の求めに応じて、当院唯一の常勤腎臓専門医である研究者が、皆様の腎機能 検査および関連項目等を確認します。腎障害のリスク評価を行い 、臨床行為の一環として担当者へフィードバック（情報提供）し ます。</p> <p>2) 当院における腎機能検査結果の網羅的な検索： 当院における血清クレアチニン値、尿蛋白量の結果を出力し網羅 的に調査します。</p> |

| | |
|-------------------|---|
| 個人情報の取り扱い | 研究者は、院内に情報共有が限定された診療端末（いわゆる電子カルテ）内でのみ、上記の研究解析を行うため、個人情報が入院外へ漏出することはありません。また、学術的公表を行う場合には、図表などの帳票化（個人の特定が不可能な）情報に限ります。 |
| 本研究の資金源 （利益相反） | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |
| お問い合わせ先 | 〒314-0112 茨城県神栖市知手中央7-2-45 社会福祉法人 恩賜財団済生会 神栖済生会病院 担当 永井 恵（内科/腎臓内科） 電話: 0299-97-2111 FAX: 0299-97-2134 （祝日を除く月・火・水・金：9時～17時） |

※血清クレアチニン：

筋肉で作られる老廃物の一つで、そのほとんどが腎臓の糸球体から排泄されます。そのため、血液中のクレアチニンの増加は、糸球体の濾過機能が低下していることを意味します。